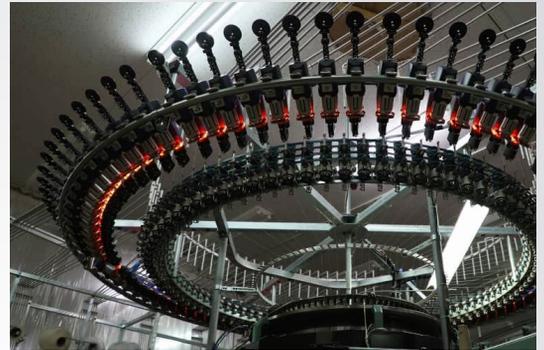


### 企業概要

1964年和歌山県和歌山市で創業。当初は全て吊り編機でスタートしたが、創業時より設備投資を続け、2010年頃から未来を見据えた特注のハイゲージに特化した設備投資を始める。その結果、世の中にないハイゲージニットを開発し、国内外へ発信。業界ではハイゲージといえば、カネマサと言われるまでのリーディングカンパニーとなる。

代表者 : 百間谷 和紀  
創業年 : 1964年6月12日  
事業内容 : ニット生地製造 / 製品製造卸販売  
従業員数 : 15名

住所 : 和歌山県和歌山市小雑賀129番地  
電話番号 : 073-423-1295  
HPアドレス : <http://kanemasa-inc.jp>



### 自社ブランド ~KANEMASA~



#### 『原料から編立、染色、製品まで全てがオリジナル』

特注のハイゲージジャガード丸編機により、従来のカットソーとは一線を画す**36G~46G**という驚異的な高密度で編立てることを実現。この機械を扱えるのは、スーパーハイゲージに特化してきた我が社特有の技術です。



“本当に良い素材を永く愛していただきたい”

確固たる美意識から生まれる“自由な価値観”と“品質の良さ”を、これからもお客様に提供し続けていきます。

### 「繊維の将来宣言」Pick Up!

#### 自社の強みを生かした経営で価値を高める

- ・唯一無二のスーパーハイゲージジャガード丸編機による高密度な編立て
- ・まだどこにも無い“Unique”な商品を生み出す別注糸への拘り

#### 「メイドインジャパン」に満足するのではなく、独自の価値を世界に発信・提供する

- ・独自のスーパーハイゲージで作上げられる高品質な自社ブランド「KANEMASA」
- ・世界最高峰の素材展示会で自社のこだわりの製品を発表

#### 持続可能な繊維産業の在り方を模索し、社会課題の解決に貢献する

- ・SDGsに積極的に取り組み、独自のサステナブル原料を開発し自社製品に使用。

## 取組紹介

### 【妥協なきこだわりの設備、素材、そして自社ブランド】

「本当に良いモノを適正な価格で直接お届けしたい」との思いから、“妥協なきこだわりの素材”をコンセプトに2021年に自社ブランド“KANEMASA”を発足。工場から直接消費者に販売することで本当に良いものを適正な価格で販売することが出来ます。業界唯一無二の模様のあるハイゲージニットを織ることが出来るジャガード織機を開発し、原料から編立、染色、加工全てが“KANEMASA”だけのオリジナルの生地や製品を製造します。これらの強いこだわりが、風合いを重視した“Unique”な商品を生み出す企画力へとつながってます。細やかな要望を確かなカタチにする為、時間を惜しまず、仕様変更などの対応が可能です。



### 【国内外のハイメゾンに愛される高クオリティな生地】

国内外のハイメゾンに生地を継続的に提供している実績があり、2013年から世界最高峰の素材展示会パリの“プルミエール・ヴィジョン”、さらにイタリアの“ミラノ・ウニカ”で、年2回、シーズン毎にニットコレクションを発表しています。また、2020年11月21日にクラウドファンディングサイトで先行販売を開始した“Suvin Recycle Organic High Gauge Sweat”が、2020年11月28日時点で目標金額の1600%を達成するなど、その技術力と独創性の高さを国内外からの高い評価を得ています。



### 【サステナブル原料を積極的に使用】

繊維産業が地球環境に与える影響に配慮し、自社でのサステナブル原料 SRO = “Suvin Recycle Organic” を独自開発。希少価値の非常に高い超長綿スピンのリサイクル原綿とオーガニックの超長綿をブレンドしたサステナブルと高品質なシルキータッチを両立したオリジナルの原料で、自社ブランドの60%を超える商品に上記をはじめとしたサステナブル原料の糸を使用し、SDGsに積極的に貢献しています。



## 今後に向けて



自社ブランド「KANEMASA」を2021年春から展開し、“B to B”から“D to C”を始め、海外でも評価される高品質な生地・商品であることを和歌山から世界に発信していきます。

また世界唯一のハイゲージニットには、自社開発のSROをはじめ、100%廃棄物からのリサイクルの環境配慮型素材、アクアフィル社の「ECONYL®（エコニール）」を2022年秋冬より導入しSDGsに更に貢献していきます。

## 経営者からのメッセージ

自社で製造した商品を工場からダイレクトにお客様にお届けすることで、自社のこだわりは譲らずに価値ある商品を、適正な価格でお客様のもとに商品をお届けすることを目指しています。

足踏みや様子見をしているとすぐに埋もれてしまいがちな業界なので、現状に満足せず、常に“チャレンジ”していくことを心懸けています。また、アンテナを高くして情報を集めるとともに、方向付けして動いていくことが大事だと考えています。

(代表取締役社長：百間谷 和紀)

